

新青梅街道沿道地区まちづくり計画案の説明会における質問・意見及び回答の概要

1 新青梅街道沿道地区まちづくり計画案説明会の概要

◎ 出席者数の実績は次のとおり

回数	開催日時	開催場所	出席者数
第1回	平成26年1月16日(木) 午後7時から午後9時まで	市民総合センター 中会議室	4人
第2回	平成26年1月17日(金) 午後7時から午後9時まで	三ツ木地区会館 集会室	5人
第3回	平成26年1月18日(土) 午前10時から正午まで	中部地区会館(市役所内) 401大集会室	4人

2 質問・意見及び回答の概要

項目	質問・意見の概要	回答の概要
計画案について	1 道路30mとその両側30mずつ、全90mに制限がかかるのか。	そうである。全90mの範囲にルールを定めて指導していく。
	2 サブ核について、市がどうしていかが見えない。区画整理等を行うのか。	東側のサブ核については、団地の土地であり、西側のサブ核についても、過去に整備したグリーンタウン周辺なので、新たに区画整理をする予定はない。企業誘致なども考えている。
	3 ルールの語尾が「努める」等となっているが、この考え方でよいのか。地区計画が策定されるまでは、お願いをしていくということか。	そのとおりである。

項 目		質 問 ・ 意 見 の 概 要	回 答 の 概 要
計画案について	4	壁面後退等で、具体的な数値の設定はあるのか。	この計画では、具体的な数値の設定はない。今後地区計画の策定の際に、具体的な数値の設定を考えている。壁面線は揃えた方が美しいまちなみになるため、壁面後退の趣旨を位置付けている。参考として、現在新青梅街道沿道で地区計画が策定されているエリアでは、沿道に対して1.5mの制限を設けている。
	5	壁面について、1階のみ壁面の後退を行い、2階以上は壁面後退しないという考えはあるのか。	ある。
	6	武蔵村山市でここまで発展できるのか。規制が多いのではないのか。	まちづくりはすぐにできるものではないが、この計画に沿って、同じ考えを持って、良いまちを市民の皆さんとつくっていきたいと考えている。
	7	モノレールの延伸計画決定段階におけるサブ核のまちづくりについて、協議会を立ち上げて考えていく方法も想定しているのか。	現時点では、協議会の立ち上げは考えていないが、地区計画の策定の際には、地域ごとの意見交換会や説明会を行い、地元の意見を吸い上げていく予定である。
	8	この計画はモノレール延伸を前提にしているのか。もし、モノレール延伸の話がなくなってしまうと、この計画の意味がなくなってしまうのではないのか。	この計画はもちろんモノレールが延伸されることを想定して作成しているが、道路拡幅段階とモノレール延伸計画決定段階の2段階で考えているため、意味がなくなってしまうことはない。

項 目	質 問 ・ 意 見 の 概 要	回 答 の 概 要
周知について	9 今回の説明会と計画案について、どのような周知を行っているのか。	市報、ホームページ、ツイッター、市政情報提供サービス等により周知を行った。
	10 周知不足である。以前にも、用途が変更されいつの間にか準防火地域になっていた。それを知らずに建替えたら、窓を準防火仕様にしなくてはならず、予算をオーバーした。市は事前にきちんと説明するべきである。後になって問題が出るのは困る。今回も1軒1軒回った方がよいのではないか。	まちづくりが市民の財産に直接影響することは承知している。個々への説明は難しいが、今後、地区計画などを決定する際には、地元への説明会等も行っていく。
新青梅街道拡幅整備事業について	11 計画案の8ページの車道部分が8mとなっているが、停車帯はどれくらいあるのか。	東京都の事業説明会の資料によると、車道が1車線当たり3.25mで停車帯が1.5mである。
	12 拡幅事業はどれくらい進んでいるのか。第Ⅰ期区間について、あまりスピード感を感じない。少しでも早く進めてほしい。第Ⅱ期区間の瑞穂町の方が進んでいるように感じる。	現在第Ⅰ期区間については、用地取得を進めているところで、取得率は約12%と伺っている。畑等、物件調査の必要のない所から取得をしていき、建物等があるところに関しては、物件調査を行い、個々に折衝している。瑞穂町では、箱根ヶ崎と殿ヶ谷で区画整理事業を行っており、それらは新青梅街道の拡幅整備事業とは別の事業である。市でも区画整理事業を行っており、駅前広場となり得る用地の確保等も考えている。

項 目		質 問 ・ 意 見 の 概 要	回 答 の 概 要
新青梅街道拡幅整備事業について	13	<p>拡幅事業の予算はどれくらいなのか。 第Ⅰ期区間の説明会の際、第Ⅰ期区間が終了したら、第Ⅱ期区間に入ると聞いた記憶があるが、重複して事業が進んでいるのはなぜか。</p>	<p>第Ⅰ期区間の事業予算は約40億円であり、第Ⅱ期区間は約75億円である。 また、第Ⅰ期区間の説明会で第Ⅰ期区間が終了したら、第Ⅱ期区間に入ると伺ったとのことだが、そういうわけではない。東京都としては、10年間の間で全区間において、何らかの着手を行いたいとしている。着手とは、事業の説明会も含んでいるため、残り2区間においても、説明会等が順次行われるかと思われる。しかし、東京都の予算等の関係もあるため、市では、はっきりしたことは言えない。</p>
	14	<p>拡幅事業の細かなタイムスケジュールはあるのか。</p>	<p>もちろん東京都で考えているものはあるが、市への情報提供はない。</p>
	15	<p>中央分離帯の緑化はあまり有効的とは思えない。その部分を使って、駐車スペースにするという考えもある。</p>	<p>(特に回答していない。)</p>
	16	<p>今後自転車の利用を重視していくべきである。自転車道をタイル敷きにすると、運転が怖いので、配慮していただきたい。</p>	<p>今回の事業では、自転車道をつくる計画である。自転車道の構造等については未定である。</p>

項 目	質 問 ・ 意 見 の 概 要	回 答 の 概 要
	<p>17 拡幅前と後では車線数が変わらないが、輸送量が増えるとは考えにくい。3車線にする考えはないのか。</p>	<p>車線数は変わらないが、各車線の幅が広がり、新たに1.5mの停車帯ができる。それにより、大型車両が並走できるようになる。また、停車帯ができることで、一時停車されても、車の追い越しがしやくすなり、渋滞緩和になる。</p> <p>東京都は、新奥多摩街道、新青梅街道、東八道路、そして計画道路の新五日市街道の4本の幹線道路で東西の輸送はまかなえるという考えである。</p> <p>上記の幹線道路は基本的に片側2車線の道路であり、東八道路で実際にあった話だが、3車線の道路が2車線へ減少させたところがある。理由としては、蛇行での追い抜きが多く、危険であるということで、警察と東京都で協議した結果車線を減らしたとのことである。</p>
	<p>18 1.5mの停車帯だと、バスが停められないのではないか。歩道の緑地帯を削ってバスベイをつくってはどうか。新青梅街道にバスを走らせるのであれば、早めに協議すべきである。</p>	<p>現在のままではバス停を設置できないため、バスベイをつくらなければならないが、交通量等により警察の許可がおりない。まず、新青梅街道にバスの需要があるかどうか重要である。また、バスベイを設置する可能性がある場合、歩道を削ったり、バスベイの整備はどこが主体になるかなど、東京都や警察と調整しなければならない。</p> <p>しかし、過去に新青梅街道にバスが走っていたが、廃線になったという経緯もあり、新青梅街道にバスが走ることは難しいと思われる。</p>

項 目		質 問 ・ 意 見 の 概 要	回 答 の 概 要
新青梅街道拡幅整備事業について	19	<p>現在新青梅街道沿道にバスがあっても乗らないということは、モノレールも乗らないということではないか。</p> <p>乗客を増やす努力が必要ではないか。</p>	<p>現在は、最寄りのバス停からバスに乗り、例えば上北台駅まで行って目的地に向かうが、モノレールができれば、市内循環バスを再編し、モノレールの駅まで人を輸送することで、多くの方がモノレールの駅を利用することができる。したがって、新青梅街道単独でバスが運行しているのと、モノレールの駅がある上で、バスが運行するのとでは、性格が違う。</p> <p>乗客を増やすことを考える必要はある。</p>
	20	<p>道路構造について全て東京都任せにするのではなく、歩道をどうつくっていくかは市でも考えるべきである。</p>	<p>東京都と調整する機会はあるので、市の考え方は伝える。</p>
	21	<p>駅ができて、車での送り迎えは多いと思われるので、車寄せは必要であると考え。例えば、駅ができるまではバスベイとし、駅ができたなら車寄せにする等はどうか。また、パーク＆ライドも考える必要がある。</p>	<p>警察に協議が必要になる事項である。おそらく自転車道の走行についてを考えると、バスベイや車寄せがあると自転車道の走行レーンに曲がりが入ることになるため、安全性の上で難しいと思われる。</p>
その他	22	<p>三本榎の交差点の南北で水道管の工事等を行っているが、あれは新青梅街道の拡幅事業と関係があるのか。</p>	<p>新青梅街道の拡幅事業とは別に施行している東京都の交差点すいすいプランという事業で、右折レーンの設置工事である。</p>
	23	<p>景観重点地区やこの計画での届出等、都市計画課の事務が増えるが、人員の配置や審査機関等の体制については増員されたりするのか。</p>	<p>今のところ、増員の予定はない。</p>
	24	<p>武蔵村山市は駅もなく立地が悪い上に、制限をかけてしまうと土地を借りたいという事業者に対して貸すに貸せない。地主が土地を管理することも考えてほしい。</p>	<p>(特に回答していない。)</p>

項 目	質 問 ・ 意 見 の 概 要	回 答 の 概 要
	25 この計画について、将来を担う子供たちに向けて、授業などの一環で教え、一緒に将来を考えていくことを提案する。教えることにより、意識が高まると考える。	(特に回答していない。)
	26 いつも計画が遅い。この計画に関しても遅くても10年、下手したら20年くらい前にきちんと都市計画する必要があったのではないか。	この計画ももっと早くにつくれた方が良かったが、幅員を18mから30mへ都市計画変更されたのが平成17年であった。そこから事業化に向けた動きがあり、ようやく事業化に至ったところである。これを契機に協議会を立ち上げ、検討を行い、計画の策定に至った。
	27 虫食いの開発はやめてほしい。足並みをそろえて大規模の開発はできないのか。	所有者それぞれの事情や時期等があるので難しい。
	28 駅周辺だけでなく、市全体についても考えなくてはならないと思う。	市全体のまちづくりを示すまちづくり基本方針を25年10月に改定したところである。

3 説明会での意見への対応について

説明会での意見については、計画の内容に修正を加えるような意見がなかったため、本文の修正は行わないこととする。